

石クリ通信

11月号

アメリカのハロウィーン

事務長 石川 都

十月末のハロウィーンは、今こそ日本中でお祭り騒ぎだが、私たち家族が滞米中のおよそ四〇年前は、日本では全く知られておらず、私たちも向こうに行つて初めて知つたイベントであった。

元はアイルランドのケルト民族の収穫祭や魔除けとも言われ、カトリックの諸聖人の祝日(十一月一日)の前夜祭にあたるが、私たちのいたメンフィスでは、教会ごとに趣向をこらしたお祭りが繰り広げられ、アパートでは大人も子供も仮装し、子供たちは、トリック・オア・トリート(お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ)と言いつつ家々を回り、カボチャ型バスケットにお菓子をに入れてもらつていた。

私たちが住んでいたのは中南部のテネシー州で、バイブルベルトというキリスト教の盛んな地域であり、町中の交差点の角々に各宗派のかなり大きな教会が建つていたが、宗派によつては魔除けの意味合いのハロウィーンを異教的として行わない派もあった。

それでも子供から大人までさまざまな仮装をして盛大に遊び、子供たちもお菓子や景品などもらひ放題のイベントは、私たちがアメリカという国の豊かさやゆとりをしみじみ感じた日であった。行つたばかりで経験のないわが家では、仮装と言われても私はどうしてよいかかわからず、子供たちは日本から持

参した普段のマントやボンチョで魔法使いや子羊になった。それでも楽しく遊んだ一日の終わりにカボチャ型バスケット(ジャック・オー・ランタン)はお菓子であふれ、子供たちはご満悦だった。

余談・・・このカボチャ型バスケットがあまりに可愛いので帰国時に大事に持ち帰ったが、今ではハロウィーン時期にハロウィーングッズとして百貨店の店にいくらかもあるのがご愛敬で、四十年の時の流れを実感する一コマである。



交通事故

院長 石川 悟

先日諏訪から常陸太田に向かう山道で交通事故に遭いました。雨の日の早朝、右に急カーブの登りを曲がり始めたら、上からカーブを曲がり切れない乗用車が突っ込んできました。ぶつかった！ というのが実感の事故でした。相手はブレーキをかけたが、(ハンドルが)ロックされてコントロールが効かなくなつたと平謝りでした。

こんな場合はどうするんだっかな、とまず冷静になつて、警察に電話(ご存じの方も多いでしょうが、携帯電話から電話する場合、110とかけるだけでつながります)、簡単な事故の状況を説明、近くの電柱の表示番号を見るように指示されました。少し下がって行くと電柱がありました。電波状況が悪く、すぐ電話が切れてしまいました。番号を覚えて高い所まで戻つて報告をするので正しい場所が特定されました。

自動車保険の連絡先がわからなかったため、トヨタの緊急連絡先に電話したら、保険会社にもつないでくれ、比較的スムーズに進みました。二人の警察官の到着までそれほど待つこともなかったため、結局1時間程度で事故処理は終了しました。

今回の事故では車が自走できたので、少し道路が広くなつてるところまで車を移動でき、幸い渋滞を招くことはありませんでした。電柱の番号で、迅速にそしてピンポイントに位置が特定できることに驚きました。また携帯電話が十分に充電されていたので、電話連絡に支障をきたすことはありませんでした。車の修理や保険での保証の交渉など、これからは時間を取られるのが一番憂鬱です。雨の日の運転は気を付けましょう。

日課です

事務 吉田 政子

玄関先の掃き掃除が毎朝の日課です。玄関を開けると、足の踏み場もないほどの緑のカメムシが落ちています。玄関先だけではなく壁にもいます。ここ一カ月特にひどいです。電灯を「E」に変えたり、虫除けを下げてみたのですが、変化はありません。最近では掃き集めたカメムシは、枝豆に見えてくるし、あの独特の匂いにも慣れつつある自分が怖いのです。いつまで続くのでしょうか？早く寒くなつてほしいです。

孫の結婚式

看護助手 柴田 さち子

九月に娘の長女が結婚しました。父と歩くバージンロード。嫁に行く孫、そして娘を嫁に出す両親。うれしい気持ちと淋しい気持ちで下さい。おめでとう。



ハロウィーン

看護師 太田 小百合

ハロウィーンのシーズンですね。今年もレシピを参考に作ってみました。マ○クのハンバーガーには負けませんが、なかなか美味しくできました。



予防接種受付であります

事務 森 多加子

ほんの一月前まで半袖で過ごせるような陽気でしたが、先週あたりからすっかり寒くなってきましたね。これからますます寒くなり空気が乾燥してくると、インフルエンザやコロナ感染が心配です。十月から予防接種を行なっています。ご希望の方は受付にお声かけください。

熊恐るべし

看護師 澤田 彰子

毎年、車中泊で東北の温泉地を巡っていました。今年、熊が怖くて行けませんでした。去年、秋田で二度熊に遭遇しており、今年は特に毎日熊の人的被害のニュースを見て、とても行く気にはなれませんでした。熊さんどうかお願いします。山に帰ってください。

発表会

庶務・ウェブ担当 石川 香

子どもたちのバイオリンの発表会でした。シュタインバッハネクスストジェネレーションを楽しく、子ども二人ともバイオリンを始めましたが、楽しんで演奏するレベルまでは、まだ時間がかかりそうです。日々「練習しなさい！」と親子の戦いがあります。じいじ(院長)には「もっと練習すれば、もっと上手になるよ」言われながらも、練習しない割にはそこそこ上達し、演奏を披露してくれました。また来年の発表会まで続けられるでしょうか。

